

①事業の基礎情報

事業名	みんなでまちをきれいにします事業				担当部・グループ名	市民総合窓口センター 市民生活グループ					
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名	芝田 啓二					
新規・継続の別	継続事業				電話番号(内線)	52-1111(内線 260)					
総合計画(基本計画)体系	個別目標	(7) みんなでまちをきれいにします				予算・事業上の 予算書上の 事業名	款	4款 衛生費			
	こんなことに取り組みます	・「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」を推進します。 ・「高浜市ごみ処理基本計画」に基づき、紙ごみのリサイクルをはじめ、ごみの減量化に取り組みます。 ・地域・学校・事業者・関係機関と連携した環境美化活動、環境保全活動に取り組むこととし、不法投棄対策を積極的に進めます。					項	2項 清掃費			
							目	1目 ごみ処理・リサイクル推進費			
	事業名	1 ごみ減量リサイクル推進事業					総合戦略	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			
みんなで目指すまちづくり指標名	・1人1日あたりの家庭ごみ排出量 ・日ごろから省資源や省エネなど環境に配慮した生活をしている人の割合 ・環境美化推進員の人数										
	現状値(H25)	・545 80 ・2900	実績値(H26)	・536 ・81 ・4263	実績値(H27)	・538 ・78 ・5634	実績値(H28)		目標値(H29)	・490 ・85 ・3500	(単位) % 人

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	★高浜エコハウスを環境学習と資源の回収拠点とする。		
	★資源化率向上のため資源回収場所を増設する。		
	★環境政策を検討する市民組織を設置する。		
	★子どもたちの自主性を尊重した環境美化活動を支援する。		
対象(誰・何を対象に)	市民	対象の数量	46,373人
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	☆高浜エコハウスで様々な資源を回収できる拠点とする。		
	☆資源化率向上のため、資源回収場所を増設する。		
	☆環境にかかる情報収集、検討、事業化できる市民シンクタンクを設置する。		
	☆環境美化活動等を子どもたち自身が企画運営できるようサポート体制を確立する。		

③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度 (当初予算額)		決算額		主な内容	
事業費総額 (千円)		44,568	36,464	・集団回収報奨金等報償費 3,974 千円 ・可燃用収集袋等消耗品 22,250 千円 ・不法投棄等ごみ処理業務委託料 5,215 千円 ・指定袋配布業務委託料等 5,025 千円 ○可燃ごみ処理手数料 25,688 千円 ○資源ごみ回収収益金 9,720 千円	
財源内訳	一般財源	12,407	1,056		
	特定財源				
	国・県支出金	—	—		
	その他	32,161	35,408		
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業		

④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆不燃物理立場で埋立方式からリサイクル方式に変更した。	H27.4～	—
	◆環境政策に関する検討組織「生活問題研究会」を設置した。	H27.4～	—
参画・協働・ 情報共有の工夫	★環境政策に関する検討組織「生活問題研究会」を設置した。 ★女性団体「生活学校」において可燃ごみ袋、分別拠点のあり方を検討した。		
進捗状況	当初に掲げた計画どおり、進めることができた。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆「環境問題研究会」や「生活学校」と環境政策等について検討することができた。		



⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<u>(1) 町内会と連携した分別収集方法の検討</u> ・町内会が運営する分別収集拠点のあり方や運営方法について検討する必要が生じた。	・町内会による分別収集拠点について、町内会と協力し、運営方法、拠点数、収集時間、町内会への支援方法など、今後の分別収集のあり方を検討する。
<u>(2) 子ども環境美化推進員の登録拡大</u> ・子どもの環境意識の向上のためにも、子ども環境美化推進員を増加する必要がある。	・子ども環境美化推進員の登録拡大のため、未登録の小学校と登録に向けた協議を行う。



⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆新たな生ごみ堆肥化補助制度を実施する。(補助対象上限額の見直し)	H28.9
	◆民間分別収集拠点を紹介し、資源率向上を図る。(資源化率の向上)	H28.9
	◆子ども環境美化推進員の登録支援(小学校2校)	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆町内会長OB等で構成する生活問題研究会及び女性により組織される生活学校において施策を検討する。	

特記事項	
------	--